

## 予算決算委員会都市経済分科会会議録

### 招 集

令和4年7月29日（金）午後1時 議場

### 出席委員（9名）

（分科会長）岩 崎 康 朗 （副分科会長）大 下 哲 治  
門 脇 一 男 国 頭 靖 戸 田 隆 次 中 田 利 幸  
西 野 太 一 又 野 史 朗 矢 田 貝 香 織

### 欠席委員（0名）

### 説明のため出席した者

伊澤副市長

#### 【総務部】

[総務管財課] 松本課長 清水財産管理担当課長補佐

#### 【経済部】若林部長

[経済戦略課] 坂隠課長 岩田産業・雇用戦略室長

[商工課] 頼田課長 上場商工振興担当課長補佐 中原商工振興担当主任

#### 【文化観光局】深田局長

[観光課] 石田課長 田仲課長補佐兼観光戦略担当課長補佐

[スポーツ振興課] 成田課長

[文化振興課] 原課長 林課長補佐兼文化振興担当課長補佐 木村文化財室長

#### 【農林水産振興局】赤井局長兼農林課長

[農林課] 深田農林振興担当課長補佐 神庭農林振興担当係長

[水産振興室] 宅和室長

[地籍調査課] 塚田課長

#### 【都市整備部】隠樹部長

[建設企画課] 岡島総務担当課長補佐

[都市整備課] 北村課長 森公園街路担当課長補佐

本干尾米子駅周辺整備推進室長

[道路整備課] 伊達次長兼課長 瀬尾課長補佐兼道路維持担当課長補佐

足立交通安全施設担当課長補佐

[営繕課] 西村課長

[建築相談課] 前田次長兼課長 神門課長補佐兼建築審査担当課長補佐

[住宅政策課] 池口課長 潮課長補佐兼市営住宅担当課長補佐

#### 【下水道部】下関部長

[下水道企画課] 遠藤次長兼課長 仲田下水道企画室長 中村総務担当課長補佐

[下水道営業課] 林課長 森料金担当課長補佐

[整備課] 山中課長 本池課長補佐兼管路整備担当課長補佐

清水管路維持担当課長補佐

[施設課] 山崎課長 見山施設維持担当課長補佐

#### 【農業委員会事務局】日浦事務局長

## 出席した事務局職員

松下局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐

## 傍聴者

安達議員 伊藤議員 稲田議員 今城議員 田村議員 塚田議員 津田議員

錦織議員 松田議員 森田議員 森谷議員 吉岡議員

報道関係者 1人 一般 9人

## 審査事件

議案第52号 専決処分について（令和4年度米子市駐車場事業特別会計補正予算（補正第1回））

議案第60号 令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第3回）のうち当分科会所管部分

議案第61号 令和4年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第1回）

~~~~~

## 午後1時20分 開会

○岩崎分科会長 それでは、ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、25日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案3件について審査いたします。

経済部所管について審査をいたします。

議案第60号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第3回）のうち、経済部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

坂隠経済戦略課長。

○坂隠経済戦略課長 令和4年度一般会計補正予算のうち、本分科会に付託されました経済部所管の事業について、一括して説明をいたします。説明は、歳出予算の主な事業の概要の中からポイントを絞って説明をいたします。

まずは9ページをお開きください。上段、酪農経営緊急支援事業でございます。これは、配合飼料や輸入牧草の価格急騰により経営を圧迫される酪農家に対し、飼料代の一部を支援するものでございます。

同じく9ページ下段、もっとよなごを元気に！飲食店応援事業でございます。これは、本キャンペーンに参加している市内飲食店を一定の条件で利用された際に食事代を割り引くもので、本年4月11日から6月末まで実施したところでございます。本事業に係る予算は昨年度実施した第一弾の実績を踏まえ積算をしたところですが、お手元に配付しております資料のとおり、認証店の参加店舗数と各店舗における割引利用率が想定を大幅に上回りましたことから、このたび補正予算を上程するものでございます。

なお、補正予算を含めると、支援総額は約3億2,000万円となることから、本事業を通じ、市内飲食店に6億4,000万円以上の経済効果があったと推測され、短期間で大きな効果があったものと考えております。

次に、10ページ上段、オミクロン株影響対策特別支援金でございます。これは、年明け以降の新型コロナのオミクロン株蔓延により大きな影響を受けた事業者を支援するため、鳥取県が実施するオミクロン株影響対策緊急応援金に単市で上乘せ支援をするものでございまして、県が見込んだ申請件数等を基に積算したものでございますが、お手元に配付しております資料のとおり、当初想定していた申込件数1,400件を大幅に上回ることが見込まれるため、補正予算を上程し、対応しようとするものです。

同じく10ページ下段、消費喚起イベント開催応援事業でございます。これは、新型コロナの流行により縮小、自粛傾向にあったイベントの開催支援を行うことにより、にぎわいの創出や地域経済の活性化につなげることを目的としており、集客促進に係る来場者へのプレミアム部分とイベント告知に係る経費について補助を行うものでございます。

次に、11ページ上段、地産地産物産展開催事業でございます。新型コロナの感染拡大の影響は、飲食、宿泊といった業種にとどまらず、様々な業種に及んでおります。例えば観光客減少による特産品や土産物の製造事業者、冠婚葬祭や各種式典等の自粛による花卉業界などがございます。本事業は、こうした事業者を支援するため、市内の百貨店等の催事場で物産展を開催するものでございます。

同じく11ページ下段、今夜はもう1軒！2次会利用促進応援事業でございます。これまでも飲食店応援キャンペーン等を通じ継続的に支援を行ってきたことにより、一般的な飲食店には客足が戻りつつあると考えております。一方、一般的な飲食店とスナックなどの2次会以降の利用が中心となる店舗でのキャンペーン利用率を比較すると、後者のほうが40ポイントほど低い状況などが分かってまいりました。また、タクシーの利用がピークとなる時間帯が新型コロナ流行前の22時以降から20時台に前倒しになっていることが分かりました。こうした状況に対応するため、20時以降の飲食店とタクシー運転代行のセット利用を促す事業に関わる予算を上程をしているものでございます。なお、事業の概要につきましては、お手元に配付している資料のとおりでございます。

次に、12ページ上段、皆生温泉回遊促進実証事業でございます。これは、皆生温泉の砂浜や海岸遊歩道への飲食ブースや休憩スペースなどの設置によりもたらされる来訪者の滞在時間延長や人流促進の効果を検証する社会実験を行うものでございます。

最後に、14ページ上段、米子城・魅せる！プロジェクト事業でございます。これは、ダイヤモンド大山及び米子城の魅力を発信するため、空港でのデジタルサイネージによる周知やウェブページの作成などの各種プロモーションを行うものでございます。

説明は以上でございます。

**○岩崎分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。ありませんか。

西野委員。

**○西野委員** もっとよなごを元気に！飲食店応援事業、こちらの認証店が372件、今回はあったとって、経済効果が6億円あったと、すばらしい事業だと思います。市内のこれに参加しなかった認証店というか、市内のコロナウイルス認証店は全体で何店舗、飲食店あるんでしょうか。すみません。これは9ページかな、もっとよなごを元気に！飲食店応援事業、こちらの決算見込みの要旨なんですけど。

**○岩崎分科会長** 頼田商工課長。

○**頼田商工課長** 市内の県が認めます認証店については、ちょっと今、正確な数字を持ち合わせておりませんので、改めて御回答させていただきたいというふうに思います。

○**岩崎分科会長** 西野委員。

○**西野委員** かしこまりました。続きまして、こちらの10ページの消費喚起イベント開催応援事業、こちら、市内の事業者グループ、商業団体などが実施するイベントに補助金を出していただけるということなんですけど、35万円掛ける10件ありますが、同じ事業者が2回補助を取得できることはできるんでしょうか。

○**岩崎分科会長** 頼田商工課長。

○**頼田商工課長** 今想定をしておりますのは、大体5店舗以上出店をしていただいて、約300人ぐらいの来場が見込まれるようなもの、こういったものを対象条件としていきたいというふうに思っております。そうしたところで、基本的には実行委員会ですとか主催者という方が出てくるとは思いますけれども、同じ方が同じ内容で2回という、複数ということは想定をしておりませんで、あくまでも単発でのものを想定している、全て新規というものを想定しているというところがございます。

○**岩崎分科会長** 西野委員。

○**西野委員** かしこまりました。11ページの今夜はもう1軒！2次会利用促進事業、こちら、1店舗1,000円掛ける100枚……。割引券が1店舗10万円ですね、10万円ですが、タクシー券を含めると結局1店舗5万円の補助になります。もっとよなごには100万円の補助事業だったので、飲食店からすればありがたいんですけど、1店舗5万円でちょっと盛り上がるかなということが考えられます。短期でやっていただけるのは非常にありがたいです。

やっぱりアフターコロナを見据えて、ラウンジやスナック、バーとか、そういう業態の方々に向けてというか、コロナで非常に打撃を受けた居酒屋さんとかに長期的というか、アフターコロナに向けて、今、先日の議会でもJRの話、輸送密度2,000人以下になる可能性もある。そして、さらには市内のバスが縦横の移動ができないかという議論があったので、JRも境線が、今、終電が11時台から22時24分となっております。これで市内の夜の飲食業をなかなか継続させていくのは難しいと思うので、そういった公共交通の在り方も見据えて、相乗りタクシー、介護とかにも今後使えると思うんですけど、例えば夜の相乗りタクシーとって、公会堂を発着とかで、実証実験ですね、例えば境方面に何時向かいますみたいな、3人とか4人とかで乗れる相乗りタクシーの検討をしていただく方向に向かっていただけではないでしょうか。

○**岩崎分科会長** 頼田商工課長。

○**頼田商工課長** 先ほど委員のほうから言われましたように、1店舗当たりといいますと5万円ということで、額的には非常に少額というところだと思います。これまでもやはり直接的な飲食店の支援については、もっとよなごを元気に！飲食店応援キャンペーン、こういったところで支援をしているところがございますので、このたびの今夜はもう1軒！という事業につきましては、やはりお盆が終わって、それから忘年会シーズンを迎える11月あたりまで、このつなぎのところで、やはり2次会にも出ていくというようなあたりの機運醸成、そういったものを目的としているというところがございますので、直接的な額としては幾らか少額というふうには認識をしているところがございます。

それと、もう1点ございました。乗合タクシーの事業を発案してはどうかというところがございました。これについては、交通政策課というところが、タクシーなんかの事業者とのパイプを持っておるところがありますので、そういったところの担当課と話をしてみ、そういったところの事業性については検討したいというふうには考えてございます。以上です。

○岩崎分科会長 西野委員。

○西野委員 かしこまりました。最後にですが、米子城・魅せる！プロジェクト事業、こちらは、先日も議会でもあったんですが、委員会か、仮設トイレの話になったんですが、三の丸の駐車場に仮設トイレを作るという話あったんですが、先日、私も娘たち連れて登って見たんですけど、娘がまだ幼稚園ということもありまして、山頂で、お父さん、おしっこがしたいって。これは困ったぞと。娘を担いでダッシュで駆け下りまして、湊山公園のトイレに何とか下りることができました。なので三の丸の駐車場に設置と言われたんですが、ちょっと水道とか、そういう問題もあると思いますが、これから米子城をプッシュアップしていくのであれば、山頂にやっぱり電気の設備や水道などの設備、そしてトイレの設備が必要になってくると思いますが、よろしく願いいたします。

要望ですが。すみません。要望です。

○岩崎分科会長 要望ですね。

○西野委員 はい。

○岩崎分科会長 それでは、ほかにありませんか。

矢田貝委員から最初、手が挙がってましたね。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 概要の9ページ、酪農経営緊急支援事業について伺います。

経済部の様々な、今、御説明をいただいた中で、農林水産の部分について、この1点だったかなというふうに思っているところと、それから、それぞれの説明のところ、県が実施される事業について、さらに上乘せ等ですという事業の説明もあったようなんですけども、この酪農経営緊急支援事業について、もう少し、私自身の理解がありませんので聞かせてください。

まず、事業主体というところが大山乳業農業協同組合となっております、対象が市内2事業者で50頭分というふうになっておりますが、これはちょっと想像が、私、さっぱり分からない世界なんですけど、どういう事業者で、何頭以上飼っているからその事業者に当たったのかというか、その辺りもちょっと教えていただけませんか。

○岩崎分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 米子市で酪農を営んでおられる農家が2軒おられまして、1軒の方は17頭、1軒の方が33頭を所有しておられます。

○岩崎分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 乳牛ということですね。ホルスタインということですね。

○岩崎分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 酪農ということですので、乳牛で間違いありません。

○岩崎分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 その価格高騰、国際情勢の不安定によって価格高騰していると、そこって

いうところは具体的にどれぐらい上がってきていて、どういうふうはこの6分の1が出てきて補助されるのかというところで、鳥取県も自給飼料生産体制整備緊急支援事業というのをされているわけですが、これにプラスして、国の予算を米子市が使うことで、6分の1足す6分の1で3分の1の支援となるという、そういう仕掛けなんですか伺います。

○岩崎分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 現在ですけれども、おおむね1頭1日当たり2,100円の飼料がかかっております。令和3年1月から3月については1頭当たり1,536円相当かかっておまして、差額分が564円増加しておるといことがあります。その分につきまして、県補助で1頭当たり1日188円、市が6分の1相当で94円の補助をさせていただくというふうにさせていただいております。

○岩崎分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 分かりました。それぞれの酪農家の方々がそういう価格を設定されたというより、大山乳業のところで卸しておられる価格で判断されて6分の1と6分の1でということになったということによろしいんですね。すみません。さっぱり分からない中の質問で申し訳ないんですけど。

○岩崎分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 おっしゃるとおりだと思います。

○岩崎分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 食する食料の量というのが、乳牛の量が圧倒的に多くて、食肉となる牛とか、米子の中にほかに鶏とか豚とか、飼っていらっしゃる場所があると思うんですけど、そういったところの飼料高騰に関わる援助に比べられないほどホルスタインがたくさん食べるんだということは理解、私なりにはしているつもりなんですけど、それ以外のところの畜産物についての支援というのは検討はなされていないのでしょうか。

○岩崎分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 酪農に関しては、補助が非常に低いものでして、食肉については別のところから食肉の価格の補填等があるもので、その関係から、酪農が非常に不利な状態であるということで、補助をさせていただくことになりました。

○岩崎分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 分かりました。国際情勢の不安定から燃料高騰、またそれに関わる飼料の高騰ということで、幅広く考えていかれるべきだと思うんですけども、コロナの対策の初めの頃は緊急に飲食店を守るんだとか、コロナの感染拡大防止対策が必要だということで、そちらに多く予算が出ていったと思うんですけども、今、コロナの感染拡大防止の予算とともに、価格高騰に対する経済的な支援というところで見れば、これから今まで向かってこなかった新たな方向に向かったの支援策というのをしっかりと見ていかないといけないというふうに考えているんですけども、何となくイメージとして、県がされているところに乗かって、米子として拡大をして、さらに応援していこうというふうにも感じる場所なんです。

私、自分は建築業で個人の事業主なので全く支援を受けることができないんだよねってつぶやかれた方が少し前にいらっしゃって、すごくそれが心に残っております。こういっ

た方々への支援はもちろんしていただかないといけないんですけれども、ガソリン代という角度で見たときには、今の経済部の報告以外のところで、介護のところ、いろいろと出ておりました。そのときにも、介護業界のガソリン代については支援がありましたけど、訪問の看護であるとかリハビリというところは県がしておりませんので、今回、米子市も県に倣って対象としておりませんという答弁もあったんですね、昨日。それらも含めましてしっかりと、小さなところですけども、市がそれぞれの対象になる方々からの聞き取りをしながら、新しい支援策というところにつきましては、独自で考えて取り組んでいただきたいなという思いを持っておりますので、質問をさせていただきました。以上です。

**○岩崎分科会長** 次に、中田委員。

**○中田委員** ちょっと私の質問の前に、私もちょっと聞こうかと思ったんですけど、先ほど西野委員のほうから後でということの整理がされたので、あえてここで求めませんが、もっとよなごを元気に！のところでは、補正の理由が認証店の参加店舗数の見込みが大きくなったというのが理由なので、その数が説明ができないという準備不足は厳にないようにしてください、今後は。早急にこの資料は出してください。

それじゃあ私の質問をしますけども、地産地商物産展の開催事業というのが11ページにございますが、これは市内事業者の支援を目的とするということで、物産展を開くということなんですけど、それで百貨店等を会場にした物産展だと。通常、百貨店でやるいわゆる催事としての物産展等は、例えば県外の有名物産等がいわゆる百貨店のシャワー効果を狙って催事を開くというのが通常のセオリーで開かれるんですけど、それを米子市の百貨店で市内事業者の物産展を開くというところの支援策としての趣旨は、市内事業者の支援というのが極端に言うと百貨店側にあるのか、それとも地元物産を販売している側にあるのか、その両方にあるのか、そういったことも詳しく分かりませんし、実際、百貨店で扱われる物産というのは、米子市内の人が購買意欲を持つような物産だと期待しますが、どのような物産を想定しているのかについてお答えいただきたいと思います。

**○岩崎分科会長** 頼田商工課長。

**○頼田商工課長** こちらのほう、地産地商の物産展につきましては、令和3年度についても実施をしたというところがございます。令和3年度の実績で申し上げますと、駅前イオンでの催事場が1回、それから、J U米子タカシマヤでの催事が2回、米子しんまち天満屋での催事が1回ということで、市内の基本的には百貨店で1回ずつという、ホープタウンさんがちょっとなくなったところがありますもんですから、そういったところで、想定は市内の百貨店が1回ずつというところで、シャワー効果のほうの大本のほうに対してもやはりお客様に来ていただきたいという目的もあります。

一方で、参加をいただいたところは、米子ええもん会、あるいはマチメシ！YONAGOといったお弁当の販売、それから、天満屋のほうも山陰ええもんうまいもの市ということで、地元の飲食店のお弁当をテイクアウトで供じていただいたというところがございます。そういったところで、やはり地元の事業者の方々への支援策という両方の側面があるかというふうに考えているところがございます。

今年度、新たに同じように3店舗については、市内の百貨店の3店舗を予定をしているというところがございます。中身につきましては、少し説明のところにもありましたけれ

ども、今お困りになっている事業者としては、これだけ冠婚葬祭が非常に減っているというところがあって、やはり花卉業界というのが非常に困っているというところ、あるいは、例えばですけれども、屋台なんかもイベントが非常に減っていて、屋台での販売というのが非常に苦しいというところがございますので、そういった御商売をしていただけるような機会をやっぱりつくっていくというところでの支援というふうな形で今の立てつけを考えるというところがございます。以上です。

**○岩崎分科会長** 中田委員。

**○中田委員** 令和3年度の経験に基づいて開催されると思いますので、要は、販売される側にとっては、先ほどおっしゃったように、失った機会を何とかこういう場を通じて確保できるような、目的に沿った成功につながるようなことであってほしいですし、それから、買う側にとっては、買う側としても失ってきたものが、そこに行って楽しむことができたり、買物ができてというような、その効果が着実に3年度の経験に基づいて上がるような事業実施につながるように御努力いただきたいということを要望しておきたいと思います。以上です。

**○岩崎分科会長** ほかにありませんか。

又野委員。

**○又野委員** これというわけではないんですけども、もっとよなごを元気に！とか、あと今夜はもう1軒！とか、そこら辺の利用促進事業についてなんですけれども、お金、安くなって、割引になったりするから行くという方はおられると思うんですけども、根本的に、お金じゃなくて、やっぱりコロナがうつるのが心配だとかっていう声で行かないという人もかなりの数、私の周りにはおられるんですよ。確かに感染対策を徹底してお店でもやっておられるけれども、行く人の中にもし無症状の方がおられた場合とかっていうのもあり得る可能性もあるって考えると、今、物すごい陽性者が増加しているので、今の段階では難しいと思うんですけども、例えばPCR検査に余裕ができたりだとか、抗原検査キットが購入できるような状況になったときとかに、検査を受けて陰性だった人に入ってもらおうようにとか、そういうような考えというか、そういうような、お金を安くするだけじゃなくて、もっと安心して行けるようになっていうような、そういう対策というのは何かお考えじゃないのかどうなのか聞きたいと思ひまして。

**○岩崎分科会長** 頼田商工課長。

**○頼田商工課長** 今、例えば今夜はもう1軒！のほうは、県のほうが認めております認証店のみを対象というところで、今回、協賛店は除くというようなことで、やはり一定程度のそういう感染対策を施された店舗を対象ということにしております。

商工課としては、今のところそういうところを考えておりますけれども、例えば健康対策課ですとか、そちらのほうは、ワクチンを接種をする率を上げるためのインセンティブとして、こういうものと併用していくということも幾らか可能性として考えられるとは思いますが、そういったところはちょっと今のところは検討しておりませんが、今後の対策といいますか、事業を起こすに当たっては、そういったところも踏まえて、さらに、先ほど委員が言われたような、そういう陰性証明を持った方のみが参加できるとかということが仮にできるのであれば、その辺りについてもちょっと今後の事業を起こす際には検討のあれに入れていきたいというふうには思っております。以上です。



○岩崎分科会長 ほかにはありませんか。

門脇委員。

○門脇委員 それでは、私は、14ページの米子城・魅せる！プロジェクト事業についてお伺いしたいと思います。

本会議で田村議員が打って出る米子で質問されました。まさしくそれにふさわしい事業だと思っております。

それで、この補正が組んでありまして、私なんかはすごいこの事業を見たときにもう体温が上がって、これは本当に米子を挙げてやらないといけないような事業だと思っております。それで、今の段階で、この事業、具体的なことがもし何かございましたら教えていただきたいと思っております。今の状況はどういうふうになってますでしょうか。

○岩崎分科会長 原文化振興課長。

○原文化振興課長 先ほどのダイヤモンド大山に係る企画ということなんですけども、御承知のように、毎年2月と10月、この2回に米子城の山頂から見る大山の景色ということで、今回、全国的に取り上げていただきました。当日の展開というのは実はちょっとこれから具体的に進めていきたいと思うんですが、このたびの補正につきましては、やはり今ちょっとコロナの状況が非常に危ぶまれる状況ではあるんですが、せつかく目を向けていただいている米子城に対して、ぜひ行ってみたいなというような思いを持っていただけるような経費ということでこのたびは補正を組んでおります。当日のイベント等につきましては、申し訳ありませんが、ちょっとこれから詳細を検討していきたいなというふうに考えております。

○岩崎分科会長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 すみません。ちょっと補足させていただきます。

この具体的な内容ということなんですけども、10月の22、23、土日であります。その日に観望会を実施しようと思っております。できますれば、武者隊等、また来ていただいて、イベント等をしたいと思っております。そういった中で、来ていただいた方に記念品の配布とかしてまいりたいと思っております。

また、広報のほうにつきましては、デジタルサイネージを9月、10月の2か月間、羽田空港のほうで実施したいと考えておりますし、またウェブサイトのほうでダイヤモンド大山に関連した企画のワンストップのウェブページの作成をしてみたいと思っております。

また、ちょうどこの期間というのが、よなごバルが10月の中旬から下旬まで予定されておまして、そういったところで米子城に来られる方についてもナイトタイムエコノミーにつながるような、そういったPRを併せてさせていただければと。概要ですが、そのようなことを考えております。

○岩崎分科会長 門脇委員。

○門脇委員 ぜひ本当に米子らしいといいますか、米子城らしい、そういう企画もぜひ考えていただきたいなと思っております。米子城といいますか、米子を全国に売り出す本当に大チャンスだと思っております。観光産業と言ったりしますけど、産業にはお金がかかりますので、ぜひそのお金、かかった経費以上の効果が上がりますように頑張ってくださいと思います。これは全米を挙げてぜひ盛り上がって頑張ってくださいと思います。終わります。

○岩崎分科会長 ほかに、どうぞ。

国頭委員。

○国頭委員 今夜はもう1軒！の事業についてお聞きしたいと思いますけども、これは県の認証店を使うということで、県は#WeLove山陰でも7月末までやると言ったのを8月末まで延ばしてたりしますけども、今はコロナの状況が非常に高まっているということで、9月1日から10月31日、2か月ということですけども、今後、病床使用率が50パーを超えたりした場合に、県がもしも行動制限みたいなものをかけた場合、9月1日からの実施を延ばす等、それはそんな考えでおられるのかどうか、お聞きしたいなと思います。

○岩崎分科会長 頼田商工課長。

○頼田商工課長 こちらのほうは、錦織議員からの各個質問でも御質問があったかと思いますが、今の現状は9月の頭から10月の末ということを用意しておりますけれども、先ほど言われましたように、行動制限ですとか、そういったコロナの感染状況を勘案しながら、やはり柔軟な対応というのは考えていかなければならないというふうに考えております。

○岩崎分科会長 いいですか。ほかにありませんか。

西野委員。

○西野委員 ちょっと言い忘れてまして。皆生温泉の回遊促進実証事業、ページが12ページですね。皆生温泉の回遊促進事業なんですけど、先日、私も行かせていただきました地ビールフェスタ皆生、これ非常に大盛況でして、非常にいい取組だったと思います。ですが、今後のイベントなどの対応で、地域の住民からなどのクレームとかは先日出なかったでしょうか。特になかったですかね。

○岩崎分科会長 石田観光課長。

○石田観光課長 先日の地ビールフェスタの地元からの苦情というのは、現在、観光課のほうには届いておりませんが、またそういったような苦情等につきましては、自治会のほうに、また今後付き合いございますので、確認してみたいと思っております。以上です。

○岩崎分科会長 西野委員。

○西野委員 かしこまりました。あと、今回も飲食のブースの設置とかキッチンカーの出店があるんですが、度々こういったイベントをやっているのは非常にありがたいです。そして、その出店される方々のキッチンカーなど、クオリティーがやっぱりコロナ禍で上がってきてます。そのクオリティーが上がった中で、このイベントだけこうやって出店させるのはもったいないなと僕は思うんですよ。これだけ設備を投資してキッチンカー造って、いろいろノウハウを学んでやっているにもかかわらず、月に1回とか、そういうイベントに参加する。ほかの自治体でもやっているんで、いろんなところへ行っておられるとは思いますが、それだとちょっともったいないなと思うので、僕の要望なんですけど、今後、常時、市内の公園、例えば弓ヶ浜公園や湊山公園とか、先日行われた皆生の公園ですね、そういったところでこういった事業者が、米子市から許可証、例えば年間20万、30万支払って自由に公園などでこういうキッチンカーをイベント出店できるという案は難しいでしょうか。

○岩崎分科会長 深田文化観光局長。

○**深田文化観光局長** すみません。文化観光局、ちょっと畑違いであまり詳細なことは分からないところがあるんですが、都市整備部のほうで、先ほどおっしゃられた弓ヶ浜公園とか、公園のほうを選択いたしましたして、トライアル・サウンディングという手法を継続して行っておりました。公園のほうにそういったキッチンカー等を出店させて、行く行くはそういったものが定着していくようにと、そういった取組をしているというふうに捉えております。

○**岩崎分科会長** 伊澤副市長。

○**伊澤副市長** 少し補足をさせていただきます。

今、文化観光局長も答弁申し上げましたが、昨年度、都市整備部、これは都市公園、都市整備部が所管しておりますので、こちらのほうでトライアル・サウンディングということで、どんな使い方がキッチンカーなんかも含めてあるだろうかということ、従来の公園の使い方という概念を少し超えて、今、西野委員おっしゃったようなキッチンカーとか、いわゆる出店事業者の方が使っていただくような公園の使い方、こういったようなこともぜひやっていきたいと。ただ、もちろん公園としての機能との両立をどう図っていくとか、そういう課題もあるわけですけど、御案内のとおり、弓ヶ浜公園、これも様々議会でも御意見ありましたが、既にバーベキューの事業者さんが常時といたしまして、お客様を募っておられるというような体制になっておりますし、それ以外の公園についてもそういった事業者の方が御活用いただけるような使い方、これを今模索しているところでございまして、地域の理解とか、それから、場合によっては少しインフラ整備が必要になってくる。例えば電気とか、水道とか、排水の問題もありますので、こういったようなことをどの程度整備するのかわからないのかというようなことも、今、検討といたしまして、模索しているところであります。全ての公園というわけには多分ならないと思っておりますけど、今回やった例の皆生温泉の海浜公園ですとか弓ヶ浜公園、あるいはその他、可能な公園について、事業者の方がかなり幅広く使っていただけるような環境整備を今模索しておりますので、これは恐らくいずれ形になってくると、そんなに遠くないときに形にしていこう。ただ、繰り返しになりますが、普通の公園の利用者の方もいらっしゃいますので、これとのバランスといたしまして、両立をどのように図っていく、ルールづくりといたしまして、あるいはインフラ整備、そういったようなことを今整理しつつあるということですので、御理解いただきたいと思います。以上です。

○**岩崎分科会長** 西野委員。

○**西野委員** かしこまりました。公園に来る家族、そして公園で遊ぶ子どもたち、そして飲食店があれば、相乗効果、公園で、今、結構 iPad やなんか、いろいろそうやってデジタル時代なので、室内で遊ぶ子どもが多いので、そういった楽しい公園づくりをトータルでつくっていただければありがたいので、どんどんどんどんそれはちょっとできるように市も頑張っていただきたいと思います。

ちょっと参考なんですけど、答えたらでいいんですが、先ほどありました弓ヶ浜公園のバーベキューパーク、地代、家賃とかは、頂いてるなら、ちょっと金額は言えないですかね。

○**岩崎分科会長** 伊澤副市長。

○**伊澤副市長** 答弁の用意がありませんので、後ほど資料を提供したいと思います。

○岩崎分科会長 よろしいですか。

ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岩崎分科会長 ないようですので、以上で経済部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

午後2時00分 休憩

午後3時19分 再開

○岩崎分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

都市整備部所管について審査をいたします。

初めに、議案第52号、専決処分について（令和4年度米子市駐車場事業特別会計補正予算（補正第1回））を議題といたします。

当局の説明を求めます。

岡島建設企画課総務担当課長補佐。

○岡島建設企画課総務担当課長補佐 議案第52号、専決処分について（令和4年度米子市駐車場事業特別会計補正予算（補正第1回））について御説明いたします。

令和4年度米子市補正予算書のうち、8ページを御覧ください。繰上充用金5億6,167万9,000円を増額補正したもので、令和3年度の歳入決算額4,852万8,000円から歳出決算額6億1,020万7,000円を引いた不足額5億6,167万9,000円を繰上充用するものでございます。

繰上充用金は、主に米子駅前地下駐車場の過去からの累積赤字でございます。累積赤字の解消におきましては、令和2年度に策定いたしました経営戦略に基づき、まずは単年度において黒字化を目指し、長期的な駐車場経営の収支改善と一般会計からの借入れの両輪により、令和12年度までに累積赤字を解消するよう取組を進めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○岩崎分科会長 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

戸田委員。

○戸田委員 今、駐車場会計の繰上充用金について伺ったんですけども、約5億6,100万ですか、それで、これは、今、経営健全計画を令和2年度につくられて、12年度まででしたかね、10か年計画だというふうに理解をしておるんですが、一般会計から繰り出してというような様態が全く見えないんですが、その辺の対応はどのように考えておられますか。

○岩崎分科会長 隠樹都市整備部長。

○隠樹都市整備部長 一般会計からの借入れについてでございますけども、こちらにつきましては、委員おっしゃいましたように、令和2年に策定いたしました経営戦略に基づきまして、令和の3年から繰り入れる予定としておりました。しかしながら、これにつきましては、一般会計の予算の状況も見ながら財政課と時期的なものも併せて協議を行い、決定し、借入れをしていこうということございまして、現時点におきましては、まだ一般会計からの借入れというのは実施してございません。以前もこちらの議会のほうでもあり

ましたけども、そういった計画をつくって、仏作って魂入れずというようなことをしとつてもいけんと思いますので、我々といたしましては、早急に財政課のほうと協議をして、この辺の状況の改善を図ってまいりたいという気持ちでございます。

**○岩崎分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** 単純に10か年で割ると5,600万、これが繰り延べすればするほど最終的な、例えば令和7年度、8年度については単年度で7,000万、8,000万になってこようというふうに推察できるんですけども、今、部長さんがおっしゃったような内容も私は理解できるんですが、しかしながら、議会に報告をして方針を定めた中で、そのときに副市長が答弁がちらっとあったのは、財政状況を見ながらというようなお話もあったかもしれません。しかしながら、一方、この問題についてはずっと常態化をしておいて、議会からも相当指摘受けておる。だけん、やっぱり抜本的にその経営健全計画に基づいて今後も私は対応をすべきだというふうに思うんですが、副市長、その辺はどうなんですか。

**○岩崎分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 今、都市整備部のほうから御報告したとおり、あるいは委員のほうからも御指摘いただいたとおり、令和2年だったと思います。経営戦略というのをつくって、かねて議場でもこの累積赤字をどういう形であれきちんと整理すべきじゃないかという御指摘を受け、それを経営戦略の中で10か年間で解消していくという方針を立てた。そのとおりであります。我々もこのことをきちんと受け止めて、いつ、どういう形で、貸付けという形を今考えておりますけど、一財を入れていくのかということを検討しております。

ただ、ぜひ御理解いただきたいのは、くしくもちょうどコロナウイルスの感染症対策、これに伴う様々な経済対策、あるいは今はこの国際情勢の中での経済対策というのを機動的に発動しなければならないと。このときに、もちろんこの累積赤字の解消というものも大きな宿題ではありますけど、やはり我々としては少し今のタイミングでは財政の弾力性を持たせていただきたいというのがこれは率直なところでありまして、今の状況がいつ落ち着くのかということも今はっきり申し上げることはできませんけども、そういう特殊な状況の中で、少しここに対する一財の投入を今控えているというのが正直なところです。

ただ、だからといって後回しにしているということではなくて、今申し上げたとおり、災害対応と言っていいと思います。これを優先して取り組むための優先順位の判断だということで、ぜひ御理解いただきたいと思えますし、そういったような状況の中であつたとしても、その辺のバランスを考えながら、この会計の健全化に向けて適切な時期にできるだけ早く一般財源を入れていくということを考えたいと、このように考えております。以上です。

**○岩崎分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** 副市長さんがおっしゃるように、優先順位のつけ方であろうというふうに私も理解できるんですけども、やはり駐車場の経営健全計画をつくってある程度指標を示された。やはりその辺のところに基ついで進めていかないと、将来的には大きなものになってくるんだろうなと。その辺のところが私は心配されるもんですから、その辺のところで、副市長も大変な時期だというふうに理解するんですけども、大きな懸案事項、ずっと今まで残ったものをいつかの時点では整理するように、これはきちっと対応されるよう強く求めておきたいと思えます。以上です。

○岩崎分科会長 中田委員。

○中田委員 繰上充用せざるを得ないというか、そういう状況のことは理解できますので、私、あそこの地下駐車場、個人的には結構なユーザーなんです。それで、プリペイドカードを使って、いつも車に積みっ放しというか、泊まりというか、一晩を越した経験もありますし、車自体が、今は制度が変わって料金体系も変わって、一晩止めとつてもそんなに高い金額にならないような、非常に実際使ってみると結構使いやすいんですよ。プリペイドでやると結構お得感もあるんですよ。でもほとんど人が知らない。やっぱりこの繰上充用を少しでも解消していこうということになると、そういう販売戦略というか、指定管理者ですけど、そういったことを強化していかないと、この構造自体が、ただ繰上充用を当て込んでいくということで、仕方がない、仕方がないということで終わらないような、そういったやり方みたいなことも、指定管理者のほうにもやっぱり御努力いただくようなことが必要じゃないかと思うんですよ。そこら辺もぜひ進めていただきたいということを、これは意見として申し上げておきたいと思います。

○岩崎分科会長 隠樹都市整備部長。

○隠樹都市整備部長 ありがとうございます。経営戦略の中で、料金改定を行いましたけれども、料金改定の内容につきましては、やはり利用者の方に利用していただきやすい環境をつくったという具合に理解しております、おっしゃられますように、ちょっと利用者の方に対してのそういった広報ですとかお知らせのほうで十分できているかといったら、まだ十分ではないという具合に思いますので、今後とも指定管理者と一緒に、そういった使い便利のいい宣伝をさせていただきたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

○岩崎分科会長 質疑、御意見、ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岩崎分科会長 ないようですので、本件は終了いたします。

次に、議案第60号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第3回）のうち、都市整備部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

岡島建設企画課総務担当課長補佐。

○岡島建設企画課総務担当課長補佐 議案第60号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第3回）のうち、都市整備部所管部分の事業について御説明いたします。説明は、歳出予算の事業の概要により説明させていただきます。

それでは、12ページをお開きください。12ページ下の段、公園施設長寿命化事業として、補正額2,000万円を計上しております。これは、本市の公園施設長寿命化計画に基づいて、社会資本整備総合交付金を国に要望しており、その配分に応じて予算を補正するもので、内容といたしましては、弓ヶ浜公園の遊具と藤棚を整備いたします。

なお、分科会資料として関係位置図をお配りしておりますので、御参照ください。

説明は以上でございます。

○岩崎分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見を申し上げます。

西野委員。

○**西野委員** 工事費2,000万円、遊具かな、藤棚と遊具があるんですけど、内訳は幾らずつなんでしょうか。

○**岩崎分科会長** 北村都市整備課長。

○**北村都市整備課長** 2,000万円の内訳ということですけども、資料のほうの裏面になりますけども、ふわふわ、これにつきましては1,500万円と、その下、藤棚につきましては500万円を今、内訳として計上しております。以上です。

○**岩崎分科会長** 西野委員。

○**西野委員** 遊具が1,500万円ということなんですけど、公園の遊具というのは、僕、ちょっと議員になってまだ浅いんですけど、公園の遊具は市民や子どもたちの意見を反映する、何か要望を聞き取れる手段というのはあるんでしょうか。

○**岩崎分科会長** 北村都市整備課長。

○**北村都市整備課長** 今回の弓ヶ浜公園の施設、遊具の更新ですけども、基本的には、公園施設長寿命化事業といいますのが、現在ある機能をまた再現するという考えですので、今回につきましては、児童とかの意見を聞くようなことは考えておりません。

○**岩崎分科会長** 西野委員。

○**西野委員** 今回は、意見は、要望なかったみたいなんですけど、1,500万といたら一つの遊具で結構な値段なので、1,500万あればもっと何か魅力的な遊具もできるかなと思うので、そこは今後、こういう事案があれば、意見を反映しやすい、意見を聞いてから動くとか、こういう改修する、もう改修しますでこれ動いちゃってるので、改修しますが、どういう遊具が、アンケートみたいな感じでやってくれたほうが子どもたちももっと喜ぶ遊具ができるんじゃないかなと思いますので、その辺、よろしくお願いします。

○**岩崎分科会長** ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**岩崎分科会長** ないようですので、以上で都市整備部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午後3時33分 休憩**

**午後3時44分 再開**

○**岩崎分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

下水道部所管について審査をいたします。

議案第61号、令和4年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第1回）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

山中整備課長。

○**山中整備課長** 議案第61号説明資料を御覧ください。下水道事業会計補正予算に係る概要でございます。

下水道事業会計第1回の補正予算として、資本的収入及び資本的支出をそれぞれ3,212万2,000円の増額といたしております。これは、鳥取県により実施されます精進川の河川整備による福留橋、尾高地内でございますが、架け替えに伴い、橋に添架されている本市の農業集落排水の管路施設も移設する必要がございます、一時的にこの管路施設を移転する工事を行うものでございます。

なお、この工事の費用の財源につきましては、全額、鳥取県からの工事補償費を充当することといたしております。

最後のページに施工箇所を示した位置図を添付しております。

説明は以上です。

○岩崎分科会長 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○岩崎分科会長 ないようですので、以上で下水道部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午後 3 時 4 5 分 休憩**

**午後 3 時 5 0 分 再開**

○岩崎分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

8月2日の予算決算委員会における分科会報告の意見の取りまとめを行います。

報告に入れる意見につきまして、委員の皆様の御意見を求めます。御意見はありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岩崎分科会長 ないようです。それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

以上で予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

**午後 3 時 5 1 分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長 岩 崎 康 朗